

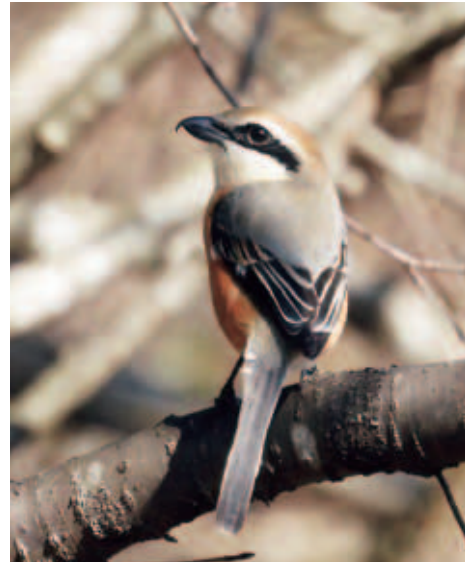
チャーミングな猛禽類 ーモズー

樹の上に止まり、鋭い目つきであたりをキョロキョロと見回している鳥がいます。モズです。大きさは20cmくらいの小型の鳥でスズメ目に属していますが、くちばしは鋭く曲がっており、昆虫やカエル、ネズミ、小鳥などを採食するので「小さな猛禽類」といわれます。

漢字で「百舌」と書きます。「モ」は、非常に多い数を表す「モモ(百)」の意味で、さまざまな小鳥の鳴き真似から『百舌』という漢字があてられました。

全国の平地から低山地の農耕地や林の端、川辺の森林などに住んでいます。陶史の森でも秋から春にかけて観察できます。秋に「高鳴き」と呼ばれる激しい鳴き声を出して縄張り争いをし、確保した縄張り^{縄張り}で冬を越します。2月ごろから繁殖を始め、4月中旬ごろまでヒナを育てます。

モズには他の鳥には見られない「早贖^{はやにえ}」という行動の特徴があります。捕らえた虫や蛙などを木の枝に刺しておくもので、自分の縄張りであることを他の鳥に誇示するためなどの理由が考えられています。このような行動をとるため怖いイメージがありますが、やや頭でっかちで目がくりくりしている姿や長いしっぽをぐるぐる回して羽を休めている様子はなかなかチャーミングです。



樹上で縄張りを見張るモズ

森の日記

ふれあいデイキャンプ

12月2日(土) 駄知青少年育成会主催の「ふれあいデイキャンプ」が開催されました。午前中はグループに分かれてオリエンターリングを楽しみました。地図を頼りに園内に設置したポイントを探して、課題を解いて回りました。お昼には河川広場で飯ごう炊さんを行い、グループで力を合わせて火をたき、豚汁や五平餅などを作りました。時々小雨が降るあいにくの天気でしたが、自然の中で仲間と協力して楽しく1日を過ごしました。



教室のご案内

バードウォッチング (自由参加)

2月25日(日) 午前9時～11時
早春の野鳥を観察します。

3月24日(日) 午前9時～11時
春の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するベストシーズンです。ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。お気軽にお声がけください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。